

環小学校区の地域住民の方への説明会での質疑

期日：令和6年7月22日（月） 場所：環小学校体育館

出席者 高橋市長 岡根教育長 中山教育部長 細谷学校教育課長 大畑主幹
苅込指導主事 菰田指導主事

保護者：18名

高橋市長の挨拶

学校の再配置についてでございますが、子どもたちの将来を希望溢れるものとするため、一定規模の集団の中で活動することを通して、子どもたちに生きる力を育む教育環境を整備したいという教育委員会の思いを強く受け止めているところであります。

現に私、市長に就任して以来、天羽小学校、天羽中学校、大佐和中学校の統合についても進めさせていただいて参りました。しかしながら、その中で市民の皆様が不安に思われている交通等については、十分配慮していく必要があると考えておりました。

地域の皆様の忌憚のないご意見をお聞かせいただき、要望等を十分にお聞かせいただきながら進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきたくお願いを申し上げます。

富津市教育委員会岡根教育長の挨拶

私たち教育委員会では、先ほど市長から話がありましたように、児童生徒の数が減少している中で、平成30年に学校再配置の計画を立てました。

小学校は、複式学級を解消しようということと、中学校は学年2クラスとして学級編成でクラス替えができるようにしようというのを一つの基準として再配置を進めてまいりました。

令和2年に金谷小学校、竹岡小学校、天神山小学校が、湊小学校と再配置をして天羽小学校になりました。中学校では、佐貫中学校と大貫中学校で大佐和中学校、そして天羽東中学校と天羽中学校で天羽中学校と進めてまいりました。

環小学校についても、児童数が大変少なくなってきている現状の中で、少しでも子どもたちにとって、学級の中での意見交換とか活動をとおして、仲間と活動しながら意思を決定していくということの社会性の形成が非常に大事だと考えておりました。その教育環境を改善するための再配置を進める必要があると考え、まず第一に保護者の皆様にご理解いただくため、説明会を実施してまいりました。

今回のこの保護者の意向を踏まえた上で、再配置について地元の皆様のご理解を得たいということで、説明会を開催しました。どうぞご説明を聞いていただき、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

意見・質問・回答 等

※回答(A)については説明会当日のものに、その後確認した内容を加えてあります。

Q1：（企業誘致について）

この地域には働く場が少なく、児童数が減少した要因があると思います。どうか企業誘致などを考えていただいて、多くの方が地元の人たちが働けるような場を考えていただければと思います。

A1： 自然環境や地理的要件を踏まえた中で、少しでも働く場を創出したいということで、様々な努力を続けさせていただいています。参考までに浅間山のバスストップの裏に今大変大きなクレーンが立って工事を始めています。トラウトサーモンというような魚の養殖工場が令和8年から稼働いたしますけれ

ども、雇用は約50人、そのうち半数は既存の工場プラントで働いている方が来るというふうに聞いておりますけども、25人程度地元採用を考えているというようなお話もいただいています。

また、ぜひ都心へのアクセスを少しでも良くしていくことを考えるべきだという思いがございます。

それには、やはり浅間山のバスストップを利用させていただくということが、今この天羽地区においては、最も都心への容易なアクセスなんではないかなというふうに感じます。

また、近々に皆さんにお知らせをさせていただくように準備が進んでおりますけれども、若者が、ぜひこの地域から離れることなく通学ができるような環境を整えたいということで、大学もしくは専門学校等、高校を卒業した子どもたちが、高速バスを使って、県外に通学する子どもたちに対して支援をさせていただく、そういう施策をこの9月から取り組ませていただくというふうに考えております。

Q2 : (人口の増加について)

この地域に多くの住宅ができるなど、移住が進むなどして、様々な取り組みの中で、子どもたちがもし増えるという場合があった場合、複式解消ができたなら、学校再配置についてはどうなるのでしょうか。

A2 : 移住の相談会に、私ども富津市も今ほとんど機会があれば参加をさせていただいておりますが、自然豊かなところで、子どもを育てたいんだというようなニーズがあると感じています。移住者をぜひ招き入れるというようなことを真剣に取り組んでいきたいというふうに考えています。

それには、地域の皆様のご協力もぜひお願いしたいというふうに思っています。というのが、やはり皆様方、各地から空き家に対しての要望というのを市によくいただいております。その空き家をですね、こちらに住みたいという方にご提供いただける、そういう情報を発信することも、今の移住政策の中で非常に大切だというふうに思っております。

例えば大きな人数になってしまい、学校の運営がこの校舎の中でできないとすれば、分離を含めて検討する時期が来るのかとは思っています。

ただ、この地区のこの学区のところだけ人数が増えてきたので、なんとかならないのかっていうことについては、その段階での検討材料になるのかな、というふうには思います。

基本的には今、環小学校の子どもたちが天羽小学校の方へ行って、ある程度の人数を確保することが大事だということで、この政策を進めているわけです。子どもたちが増えてたくさんの状況になった時にどう学校再配置するかは、その段階での検討になると思っております。

Q3 : (安全確保について)

バス通学の安全安心な部分についてや、学校再配置後の生徒指導体制や相談関係のことも含めて、安心安全ということに関して、どういうふうに考えていますか。

A3 : 今の交通状況から考えると、スクールバスで学校に通うことが安全だろうと考えています。心配なのは、バスで通学による体力面については心配をしています。日常的な運動が少し削減されてしまうということが気になります。では、とにかく子どもたちがバス停で待っているときや、乗降のときなどにも事故に合わないということには努めてまいります。安全安心ということで、委託会社につきましては、しっかりとした安全運転をするように

というところで、教育委員会から日々指導の方をさせてもらっているところ
です。また、乗車確認というところで、子どもたちがしっかり降りるべきと
ころで降りる、乗るべきところで乗るというところを、乗務員の方にも確認
をするというところで、取り残しというか乗り遅れ、またはそのまま乗って
しまうと、そのまま車で残ってしまうということが絶対ないように、しっか
りと確認をさせているところです。

再配置などにより不安を抱える児童の心のケアについては、スクールカウ
ンセラーによるカウンセリングを実施していきます。また、事前に交流学習を
計画的に実施していくことで不安の解消に努めるとともに、各学校で教職員
の連携を密にする、教育相談を充実させるなど丁寧に児童へ対応してい
きます。

また、再配置後に子どもたちは自分たちの知っている先生がいるっていうの
はすごく心強いことだと思いますので、これまで行ってきました。子どもた

ちと一緒に異動する職員は何名かおるところです。

交流会を行うことによって、天羽小には ○○ちゃんっていう子がいるんだな、
であるとか、天羽小のお子さんからすれば、環小には○○さんっていう子が
いるんだっていうことがお互いに知れる、学校の様子も知れる、活動の様子
も知れるというところで、学校再配置がスタートした時の不安を和らげたい
というふうに思っております。

また、学校再配置後は特にそれまで以上に子どもたちの心の状態に留意して、
各職員間での連携を密にして、子どもたちの悩み等の聞き取り、それへの対
応などに丁寧に対応していきたいと思っています。

Q4: (天羽小学校への入学について)

**子どもが、今、年長児です。通っている幼稚園は天羽小学校に入学する子ど
もが多いです。小学校入学時に、友達がいた方が不安が少ないということも
あり、来年度天羽小学校に入学することを選択できるのでしょうか。**

A4: 学区外通学として、市教育委員会の方に申請していただき、検討してお答え
することになります。その申請の時に、またご不安な点等あれば市教育委員
会へお問合せくださるようお願いいたします。

Q5: (天羽小学校との再配置について)

**再配置の対象校として、天羽小学校に決めた一番の理由、どういう根拠で決
めたのかを教えてください。**

A5: 両校の近さというところがやはりあります。また、環小学校の児童も天羽小
学校の児童も天羽中学校へ入学されるというようなところも、理由の一つで
す。

Q6: (跡地利用について)

**環小学校の跡地利用として公民館など、皆さんが集会をできるような施設を
残してほしいです。**

A6: 現在のところ、この環小学校の跡地利用については、まだ再配置が決定をい
たしておりませんので、決まっておりませんが、今いただいた意見も参考に
させていただきながら、様々な施設の活用も、考えながら皆様方が集まる
ところがないというような意見に関しては、考えてまいりたい。そのように思
っております。